

## 4月定例教育委員会 会議録

日 時	令和5年4月12日（水） 午後3時00分～午後3時45分
場 所	甲府市役所 9階 会議室9-2
出席委員	數野教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・塚越委員
出席事務局職員	飯田教育部長・林生涯学習室長（歴史文化財課長兼任）・中田総務課長・風間学校教育課長・石川学事課長・新堀甲府商業高等学校事務長・千野甲府商科専門学校課長・浅井教育施設課長・森本生涯学習課長・臼井スポーツ課長・青木図書館長・宮崎総務係課長補佐・菱山総務係長・坂本総務係主任
傍 聴 人	なし
署名委員	
委員会書記	

・教育委員あいさつ

・会議録署名委員の氏名 市川職務代理者

・3月定例会会議録の承認 原案のとおり承認

數野

末木

市川

塚越

原

### 1 開会

#### 數野教育長

これより4月定例教育委員会を開会します。

#### (1) 教育委員あいさつ

##### 數野教育長

学校現場においては、この4月から感染症対策が緩和され、新型コロナウイルスへの対応も新たな段階に入りました。昨年度までに学んだ知見と経験を生かしながら、新年度がスタートしたのではないかと思います。

このような中、令和5年度も教育総室、生涯学習室のそれぞれの課において、解決すべき課題や進めていくべき事業があるわけですが、特に学校教育の面で、定例校長会においてお話しした本年度の4つの課題について、本日はお伝えしたいと思います。

それは、「甲府市児童生徒支援センター『すてっぷ』、あすなろ学級と連携した不登校児童生徒への対応」「特別な支援を要する児童生徒へのきめ細かな対応」「校則等の見直しと積極的な部活動改革」「小中連携を踏まえたコミュニティ・スクールの運営」の4つです。

一つ目の「甲府市児童生徒支援センター『すてっぷ』、あすなろ学級と連携した不登校児童生徒への対応」については、すでにご承知のとおり、4月3日に甲府市児童生徒支援センター『すてっぷ』が開設されました。この甲府市児童生徒支援センター『すてっぷ』は、全ての子ども

たちが自分の将来に向けて、のびのびと無理せず、一步一步ステップを踏んでいけるようにお手伝いをしていく場所です。昨年度の市内の不登校児童生徒数は過去最高を更新する予想で、年間の欠席数が30日以上にならないまでも、学校に行きにくいという状況にある多くの子どもたちがいます。市内3か所にあるあすなる学級では、これまでも学校現場と連携する中で、不登校児童生徒の居場所づくりや学校復帰に取り組んできましたが、昨年度組織した甲府市不登校総合対策検討委員会における検討を踏まえ、本年度はより「居場所機能」「学習機能」「社会適応支援機能」の強化を図っていく予定です。そこで、新たに開設された甲府市児童生徒支援センター『すてっぷ』そしてよりその機能の強化を図るあすなる学級と連携する中で、不登校児童生徒への対応を充実させていきたいと考えています。甲府市不登校総合対策検討委員会については、本年度も引き続き開催し、保護者向けリーフレットの作成などに取り組むとともに、中学校2校を別室登校に取り組む研究指定校に指定し、市単教員をそれぞれ1名ずつ配置しました。様々な施策に取り組む中で、教室に入れずに悩んでいる子どもたちやその対応に苦慮している保護者の方々に、少しでも力になることができればと思っています。

二つ目は、「特別な支援を要する児童生徒へのきめ細かな対応」です。昨年12月、発達障害の可能性があり、特別な支援が必要な小中学生は、通常の学級に8.8%、11人に1人程度在籍していると推計されると文科省の調査結果が発表されました。前回10年前の調査が6.5%でしたので、調査方法などが一部変わってきているものの、支援が必要な子どもたちは増加してきていると考えてよいでしょう。それぞれの学校の先生方一人一人が支援を必要とする児童生徒への対応について学び、寄り添っていただくことが重要になりますし、新たに開設した甲府市児童生徒支援センター『すてっぷ』とも連携を強めていきたいと考えています。そして、各校において、全教職員を対象とした特別支援教育に関する校内での研修に積極的に取り組むとともに、校内委員会を定期的に、そして随時開催し、必要な児童生徒への支援を検討していただきたいとお願いしました。

三つ目の「校則等の見直しと積極的な部活動改革」、四つ目の「小中連携を踏まえたコミュニティ・スクールの運営」については、昨年度までの取組を踏まえ、本年度一歩ずつ進めていく予定です。そして、各校には各校の喫緊の課題があることを踏まえ、各校の実情に応じて重点を置く中で、取り組んでいくことをお願いしたところです。

先週の木曜日に、市内の各小中学校において入学式が行われました。先生方も、昨年度までとは異なり、マスクを着用していない子どもたちの顔を見ることができたようです。子どもたちの嬉しそうな顔、何か言いたそうな顔、不安そうな顔。全ての子どもたちが、たくさんの期待とちょっぴりの不安を胸に抱きながらスタートした4月。本年度もこの4月のスタートを大切にしながら、学校・家庭・地域、そして私ども教育委員会が手を携えて、甲府の子どもたちのために「チーム甲府」で取り組んでいきたいと考えています。教育委員の皆様には、これまでも増してお力添えをいただくとともに、忌憚のないご意見をいただく中で、教育委員会の役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えております。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

簡単ではありますが、新年度にあたっての挨拶といたします。

## **(2) 会議録署名委員の指名**

### **数野教育長**

会議録の署名委員は、市川職務代理者をお願いします。

### (3) 前回会議録の承認

#### 數野教育長

前回の議事録について、何かご意見ありますでしょうか。  
よろしいでしょうか。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

## 2 議事

### (1) 報告

#### 數野教育長

第5号 甲府市議会3月定例会の審議状況について

第6号 予算特別委員会の審議状況について

資料に基づき、中田総務課長から一括して説明をお願いします。

(中田総務課長から資料に沿って説明)

#### 數野教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

#### 市川職務代理

郷土の文化芸術ということで、答弁にあるような取組をしていただき、大変心強く思っております。

少し意見を述べさせていただきますと、小学校4年生の社会科で、郷土の文化芸術、芸能を取り扱うことがございますが、担任が郷土の文化芸術について、必ずしも詳しいとは限らないことがあります。

そのため、甲府市の文化芸術について取りまとめたものを、小学校へ周知していただけるとありがたいと思っています。

#### 森本生涯学習課長

今、お話を伺いまして、郷土の文化芸術について、生涯学習の分野で把握しているものを、どのように地域や学校へ伝えていくかを考える必要があると感じたところですので、周知について、学校教育課などとも連携しながら、検討していきたいと考えております。

#### 原委員

28ページの「小学校の通学区域の弾力化」についてよろしいでしょうか。

長年の懸案事項であった、大規模校と小規模校の児童数の適正化の問題について、山城小学校と湯田小学校の間で、通学区域の弾力化がこの4月からスタートすることができ、大変良かったと考えています。數野教育長の答弁内容を拝見しましたところ、「昨年10月から12月までの募集期間における問い合わせや学校見学の件数は6件であった。」との記載がございますが、山城小学校の入学者予定者数から考えて、6件という件数は少ないのではないかという感想を持ち、見

学人数の少ない理由、対象となる保護者への周知方法、時期はどうだったのかと感じました。

そこで、お伺いしたいのですが、令和6年4月入学に向けての通学区域の弾力化について、保護者の方々への周知の方法や時期について、どのように考えているのかを教えていただければと思います。

### **中田総務課長**

昨年は10月から12月で学校見学の募集期間を設定し、見学者を募ったところですが、令和6年4月入学に向けた学校見学の募集については、なるべく早い時期で行い、広報等を用いて保護者の方々への周知を行いたいと考えています。

また、湯田小学校につきましては、魅力ある学校ということで、情報の発信も積極的にPRしていきたいと考えています。

### **原委員**

通学区域の変更を行い、湯田小学校に行くこととなる子どもについては、基本、保護者の方の送迎が必要になると思われます。そうすると、今まで勤めていなかったが、子どもの小学校入学を機に勤めを始めようとする方や、転職を考えている方もいるかと思しますので、秋頃にそれを決めるのは中々難しいのではないかと思います。周知の時期はできるだけ早く、具体的には春、遅くとも夏までに行っていただきたいと考えております。

周知の方法になりますが、市ホームページや広報誌でのお知らせは当然していただけたと思いますが、ぜひ確実な周知の方法を考えていただき、多くの山城小入学予定の保護者が通学区域の変更について、検討していただけるような体制作りを心掛けていただきたいと思います。

### **數野教育長**

ご要望につきましては、検討をさせていただければと思います。

### **末木委員**

26ページの「通学路の交通安全対策」についてお願いがあります。

通学路の安全対策については、答弁にもあるとおり甲府市通学路交通安全プログラムに基づいて対策を講じていると思われませんが、交通安全プログラム作成に関わる方は大人しかいないと思われれます。

通学路に関わる危険個所については、実際に通学している子どもが一番わかっていると思われれますので、直接子どもから話を聞いたり、子どもの目線に立って安全確認をする等の対策を検討していただきたいと考えています。

### **石川学事課長**

通学路点検に関しましては、学校の先生やPTAの方と通学路を見回り、それぞれの立場から、様々な意見等をいただく中で、安全対策の検討をしていくこととなります。

子どもの目線に立った安全確認に関しましては、学校、保護者の方との連携をしながら、対応していきたいと考えています。

### **末木委員**

通学路における交通安全対策については、加速化を図るための予算を提案しているということを答弁資料から確認できます。

期待しておりますので、よろしくお願いします。

### **數野教育長**

市内の小中学校では、毎年6月1日に一斉引き取り訓練を行っており、保護者が子どもを迎えに来て、一緒に下校するときに通学路の危険箇所について学校に報告するということを行っております。

こちらは、学校教育課での取組になりますが、学事課での取組と併せながら、安全面を確保していきたいと考えています。

### **末木委員**

4月より、自転車に乗る場合、ヘルメット着用が努力義務になりましたが、市内中学校でどのような対応が進められているか、状況をお聞きしたいと思います。

### **風間学校教育課長**

各中学校では、通学や部活動で自転車に乗る場合にはヘルメットを着用することが、校則で既に決められております。

従って、この4月から新たに学校での取組が始まったということはないということになります。

### **塚越委員**

16ページの「学校給食費の無償化」について、お伺いしたいと思います。

現在、学校給食費の負担は、学校の設置者である地方自治体又は児童生徒の保護者となっているかと思えます。

答弁を拝見しまして、甲府市では食材以外の費用を甲府市の財政で賄っていただいていること、また、就学援助制度によって経済的な支援が必要な世帯の給食費の支援を行ってくださっていることがわかりました。

そこでお伺いしたいのですが、木内議員からの質問は、市内全ての子どもに対する支援というものもあると思いますが、特に経済的に支援を必要としている御家庭のことを考えられている点もあると思えます。

その点で、就学援助制度の周知がどのようになされているのかということと、また手続きの明確化、或いは簡略化等の工夫を、甲府市ではどのように行っているのかということについて、御教授いただければと思います。

### **石川学事課長**

就学援助の周知については、各学校を通じて、お知らせや申請書等を全保護者に向けて配布しております。

また、市ホームページ、広報誌への掲載も行っております。

就学援助に関しては、今年度より、今まで収入の一部としてみなしていた非課税収入について、収入としてみなさない審査方法へと変更しました。そのような制度改正もあるため、今までの周知方法に加えて、SNSを使用した周知も行っていきたいと考えています。

また、就学援助自体、申請に負い目を感じる方もいらっしゃいますので、周知のチラシを優しい表現にしたり、申請を前向きに考えてもらえるようなチラシに変えたり、甲府市役所内の子育てに関わる他部署からもチラシを配布してもらったり、学校からの保護者への配布回数を増やしたり、そういった周知方法の徹底をさらに図っていきたいと考えております。

あと、申請の手続きに関しましては、非課税収入を収入としてみなさなくなったことで関係資料の提出がなくなったので、簡素化が図られたと考えております。

### **塚越委員**

ありがとうございます。状況についてよくわかりました。

就学援助制度に限らず、全国的に見たときに、利用できる制度を知らない、知っていても利用をためらってしまう、手続きの難しさから申請を諦めてしまうという方がいることが指摘されておりますので、御教授いただいたような、甲府市としての取組ですとか、チラシの配布回数、また表現方法の改善といったようなところで、ハードルが低くなって、誰もが制度の利用について前向きに考えられるような工夫を、今後も考えていただきたいと思います。

### **數野教育長**

その他何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、確認しました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

## **3 その他**

### **數野教育長**

その他、何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

## **4 閉会**

### **數野教育長**

それではこれもちまして、4月定例教育委員会を閉会します。